

支出命令書

決裁日 27 年 9 月 7 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局	起票日	平成27年9月7日	整理番号	5476-8
年 度	平成27年度	会 計	一般会計	予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費	確 認 事 項	確 認	
項	1	議 会 費	タイムカード(出勤簿)		
目	1	議 会 費	源 泉 徴 収		
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載		
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額		
細節	45	政務活動費			
金 額	¥1,110			検収者	印
控除額				支払方法	通常支払
債 権 者	登録No. 99999	支払区分	窓口払い	1.現 金	
	住 所	金融機関		2.小 切 手	
	名 称 おづ代表者 中谷 昭	支 店			
	職氏名	預金種別			
		口座番号			
		伺 残 額		¥466,359	
摘 要	広報広聴費	支払予定日	平成27年9月18日		
	議会傍聴よびかけ隊チラシ(8月分)製作料	支払明細 整理番号	007		
	分担金	請求書番号			

上記の金額を領収しました。

平成 27 年 9 月 18 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 おづ代表者 中谷 昭

収入印紙



支出負担行為確認



支 払 済



2015000547601081

泉 大 津 市



27.9.-7

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成 27 年 8 月 7 日

泉大津市長
伊 藤 晴 彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 おづ

代表者名 中谷 昭 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	1, 1 1 0 円		
内 訳	議会傍聴よびかけ隊平成 27 年 8 月購入分チラシ製作料分担金		
支 払 先	(株) キングプリンターズ		
予 算 科 目	広報広聴費	交 付 残 額	466,359 円
使 用 者 名	おづ		

議会傍聴よびかけ隊
平成27年8月購入分チラシ製作経費分担計算書

株式会社キングプリンターズ
大阪府大阪市西淀川区千船2-10-21

A4チラシ 3,000枚 9,400円(消費税込)①

①÷議員数 9,400 ÷ 17 人 = 552.9412 円②

【分担額】

公明党 ②×3人=	1,650 円
日本共産党 ②×2人=	1,110 円
市民トライネット ②×3人=	1,650 円
市民クラブ ②×2人=	1,110 円
おづ ②×2人=	1,110 円
同志会 ②×2人=	1,110 円
立志会 ②×2人=	1,110 円
井阪 正信 ②×1人=	550 円
合計	9,400 円

領収書

領 収 証

No. A 08608

泉大津市議会 様

平成 27 年 8 月 31 日

金 額	百	千	円
¥	9	4	00

注文番号: 1083582

上記の金額正に領収いたしました

現金	
小切手	
手形	
相殺	

KINGprinters

株式会社 キングプリンターズ

〒555-0013 大阪府大阪市西淀川区千船2-10-21
TEL:06-6195-2365 FAX:06-6195-2365

取扱者

支出命令書

決裁日 平成27年 9 月 17 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属		市議会事務局		起票日	平成27年9月17日	整理番号	5476-9	
年 度		平成27年度	会 計	一般会計			予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費				確 認 事 項		確 認
項	1	議 会 費				タイムカード(出勤簿)		
目	1	議 会 費				源 泉 徴 収		
細目	4	議会調査研究事業				被服貸与台帳記載		
節	19	負担金、補助及び交付金				通勤経路及び金額		
細節	45	政務活動費						
金 額		¥30,000				検収者 印		
控除額						支払方法	通常支払	
債 権 者	登録No. 99999					支払区分	窓口払い 1.現 金 2.小 切 手	
	住 所					金融機関		
	名 称 おづ代表者 中谷 昭					支 店		
	職氏名					預金種別		
						口座番号		
						伺 残 額	¥436,359	
摘 要	研究研修費					支払予定日	平成27年10月6 日	
	10/21 地方創生、地域活性化にむけて【応					支 払 明 細 整 理 番 号	001	
	用編】 受講料					請求書番号		

上記の金額を領収しました。
平成27年10月6 日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 おづ代表者 中谷 昭

収入印紙



支出負担行為確認



支 払 済



2015000547601090

泉大津市



27.9.17

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成27年 9月 17日

泉大津市長
伊 藤 晴 彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 おつ

代表者名

中谷

昭



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	30,000円		
内 訳	地方議員研究会主催セミナー 地方創生、地域活性化にむけて【応用編】 受講料		
支 払 先	(株) 地方議員研究会		
予 算 科 目	研究研修費	交 付 残 額	436,357.19
使 用 者 名	中谷 昭、貫野 幸治郎		

領 収 証

中谷 昭 様

27 年 10 月 21 日

★

¥15,000

但「地方創生、地域活性化にむけて(応用編)」

10/21 14:00～ セミナー受講代として

上 記 正 に 領 収 いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪市北区梅田1丁目1-3-23F 7-3

TEL 06 (7878) 6297

領 収 証

貫野 幸治郎 様

27 年 10 月 21 日

★

¥15,000

但「地方創生、地域活性化にむけて(応用編)」

10/21 14:00～ セミナー受講代として

上 記 正 に 領 収 いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪市北区梅田1丁目1-3-23F 7-3

TEL 06 (7878) 6297

政経調査会280
(日経新聞)

元武雄市長

ひわたし けいすけ
樋渡 啓祐氏

特別講演

10月20日(火)

in
広島

10月21日(水)

in
東京

10:00

～

12:30

地方創生、地域活性化にむけて[基礎編]

・武雄市での取り組み

・Facebookを用いることで何が起きたか

・自治体経営の改革と情報発信

・これからの地方議員にむけて

14:00

～

16:30

地方創生、地域活性化にむけて[応用編]

・100万人が来る図書館

・自治体競争を生き抜く勘所

・武雄市での教育改革

・ふるさと納税制度の活用方法

ひわたし けいすけ
樋渡 啓祐

元佐賀県武雄市長
樋渡社中 Founder&CEO

1969年佐賀県武雄市生まれ。東京大学経済学部卒業後、1993年総務庁(現総務省)に入庁。内閣府沖縄問題担当、内閣中央省庁等改革推進本部事務局、高槻市市長公室長などを経て、2004年総務省大臣官房秘書課課長補佐で退職。2005年当時全国最年少36歳で武雄市長に就任。ドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」の誘致、市民病院の民間移譲、年間100万人の武雄市図書館の実現を図り、日経 BP「日本を立て直す100人」等にも選ばれる。2015年1月佐賀県知事選で敗れ、現在、まちづくりの株式会社である樋渡社中を結成しCEO。

支出命令書

決裁日 27 年 9 月 25 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局	起票日	平成27年9月25日	整理番号	5476-10
年 度	平成27年度	会 計	一般会計	予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費		確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費		タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費		源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業		被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金		通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費			
金 額		¥10,000		検収者	印
控除額				支払方法	通常支払
債 権 者	登録No. 99999 住 所 名 称 おづ代表者 中谷 昭 職氏名			支払区分	窓口払い 1.現 金 2.小 切 手
				金融機関	
				支 店	
				預金種別	
				口座番号	
				伺 残 額	¥426,359
摘 要	研究研修費			支払予定日	平成27年10月6日
	10/7~10/9 第77回全国都市問題会議参加費			支払明細 整理番号	001
	担金(中谷議員)			請求書番号	

上記の金額を領収しました。
平成27年10月6日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 おづ代表者 中谷 昭

収入印紙



支出負担行為確認



支 払 済



2015000547601107

泉大津市



27.9.25

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成27年 9 月 25 日

泉大津市長
伊 藤 晴 彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 おつ
代表者名 中谷 昭  印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	10,000円		
内 訳	第77回全国都市問題会議参加負担金		
支 払 先	東武トップツアーズ株式会社		
予 算 科 目	研究研修費	交 付 残 額	426,259円
使 用 者 名	中谷 昭		

会議参加費領収証

中谷 昭 様

金 10,000 円

但、「第 77 回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

平成 27 年 10 月 7 日

第 77 回全国都市問題会議実行委員会

会 長 加 藤 久 雄

No. 2265



支出命令書

決裁日 27 年 9 月 25 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局			起票日	平成27年9月25日		整理番号	5476-11	
年 度	平成27年度	会 計	一般会計				予算区分	現年度予算	
款	1	議 会 費				確 認 事 項		確 認	
項	1	議 会 費				タイムカード(出勤簿)			
目	1	議 会 費				源 泉 徴 収			
細目	4	議会調査研究事業				被服貸与台帳記載			
節	19	負担金、補助及び交付金				通勤経路及び金額			
細節	45	政務活動費							
金 額					¥70,520		検収者 		
控除額					支払方法		通常支払		
債 権 者	登録No. 99999				支払区分		窓口払い 1.現金 2.小切手		
	住 所				金融機関				
	名 称 おづ代表者 中谷 昭				支 店				
	職氏名				預金種別				
					口座番号				
					伺 残 額		¥355,839		
摘 要	旅費				支払予定日		平成27年10月6日		
	10/7~10/9 第77回全国都市問題会議参加旅				支払明細 整理番号		001		
	費(中谷議員)				請求書番号				

上記の金額を領収しました。
平成27年10月6日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 おづ代表者 中谷 昭

収入印紙



支出負担行為確認



支 払 済



2015000547601116

泉 大 津 市



27.9.25

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成27年 9月 25日

泉大津市長
伊 藤 晴 彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 おつ"
代表者名 中谷 昭 印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり
政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	70,520円		
内 訳	10/7~10/9 長野市 第77回全国都市問題会議参加旅費		
支 払 先	中谷 昭		
予 算 科 目	旅費	交 付 残 額	355,839円
使 用 者 名	中谷 昭		

平成27年度

出張申請書

(出張)

会派名	おづ		氏名	中谷 昭				
出発・帰庁年月日		出発 27年10月7日		帰庁 27年10月9日				
出張先(順路) 長野市 ホクト文化ホール(長野市若里1-1-3)								
目的及び用件 第77回全国都市問題会議に出席								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (JR北陸本線) 金沢	267.6	7,880	特急料金 1,450					9,330
" (北陸新幹線) 長野	228.1		特急料金 (かがやき) 4,960		2泊 30,000	3日 10,500		45,460
" 復路		8,600	6,410					15,010
							計	70,520

主管課用

平成27年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	おづ		氏名	中谷 昭				
出発・帰庁年月日		出発 27年10月7日		帰庁 27年10月9日				
出張先(順路) 長野市 ホクト文化ホール(長野市若里1-1-3)								
目的及び用件 第77回全国都市問題会議に出席								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円 440
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (JR北陸本線) 金沢	267.6 495.7	7,880	特急料金 1,450					9,330
" (北陸新幹線) 長野	228.1		特急料金 (かがやき) 4,960		2泊 30,000	3日 10,500		45,460
" 復路		8,600	特急料金 6,410					15,010
							計	70,520
右の金額領収いたしました。				金額				
平成 年 月 日				¥ 7 0 5 2 0				
泉大津市会計管理者 殿				職名 おづ 氏名 中谷 昭				



支出命令書

決裁日 27 年 9 月 25 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局	起票日	平成27年9月25日	整理番号	5476-12
年 度	平成27年度	会 計	一般会計	予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費		確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費		タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費		源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業		被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金		通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費			
金 額		¥105,760		検収者	印
控除額				支払方法	通常支払
債 権 者	登録No. 99999 住 所 名 称 おづ代表者 中谷 昭 職氏名			支払区分	窓口払い 1.現 金 2.小 切 手
				金融機関	
				支 店	
				預金種別	
				口座番号	
				伺 残 額	¥250,079
摘 要	旅費 10/21~10/22 地方創生、地域活性化 に向けて【応用編】受講及び(株)図書館流 通センター視察旅費			支払予定日	平成27年10月20日
				支払明細 整理番号	001
				請求書番号	

上記の金額を領収しました。
平成27年10月20日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 おづ代表者 中谷 昭

収入印紙



支出負担行為確認



支 払 済



2015000547601125

泉大津市



27.9.25

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成27年 9 月 25 日

泉大津市長
伊 藤 晴 彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 おつ
代表者名 中谷 昭  印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり
政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	105,760円		
内 訳	10/21～10/22 地方創生、地域活性化に向けて【応用編】受 講及び（株）図書館流通センター視察 旅費		
支 払 先	中谷 昭、貫野 幸治郎		
予 算 科 目	旅 費	交 付 残 額	250,079円
使 用 者 名	中谷 昭、貫野 幸治郎		

平成27年度

出張申請書

(出張)

会派名	おづ		氏名	中谷 昭				
出発・帰庁年月日		出発 27年10月21日			帰庁 27年10月22日			
出張先(順路)	アットビジネスセンター東京駅八重洲通り(東京都中央区八丁堀1-9-8) (株)図書館流通センター(東京都文京区大塚3-1-1) 日比谷図書文化館(東京都千代田区日比谷公園1-4)							
目的及び用件	地方創生、地域活性化に向けて【応用編】 学校図書館事業について							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線)	km	円	円	円	円	円	円	円
難波		440						440
" (地下鉄御堂筋線)								
新大阪		280						280
" (東海道新幹線)	556.4		特急料金 (のぞみ)		1泊	2日		
東京		8,750	5,700		15,000	7,000		36,450
" (東京メトロ丸ノ内線)								
茗荷谷		170						170
" (東京メトロ丸ノ内線)								
霞ヶ関		200						200
" (東京メトロ丸ノ内線)								
東京		170						170
" (東海道新幹線)	556.4		特急料金 (のぞみ)					
新大阪		8,750	5,700					14,450
" (地下鉄御堂筋線)								
難波		280						280
" (南海本線)								
泉大津		440						440
(線)							計	52,880
(線)								
(線)								

主管課用

平成27年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	おづ		氏名	中谷 昭				
出発・帰庁年月日		出発 27年10月21日		帰庁 27年10月22日				
出張先(順路)		アットビジネスセンター東京駅八重洲通り(東京都中央区八丁堀1-9-8) (株)図書館流通センター(東京都文京区大塚3-1-1) 日比谷図書文化館(東京都千代田区日比谷公園1-4)						
目的及び用件		地方創生、地域活性化に向けて【応用編】 学校図書館事業について						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線)	km	円	円	円	円	円	円	円
難波		440						440
" (地下鉄御堂筋線)								
新大阪		280						280
" (東海道新幹線)	556.4		特急料金 (のぞみ)		1泊	2日		
東京		8,750	5,700		15,000	7,000		36,450
" (東京メトロ丸ノ内線)								
茗荷谷		170						170
" (東京メトロ丸ノ内線)								
霞ヶ関		200						200
" (東京メトロ丸ノ内線)								
東京		170						170
" (東海道新幹線)	556.4		特急料金 (のぞみ)					
新大阪		8,750	5,700					14,450
" (地下鉄御堂筋線)								
難波		280						280
" (南海本線)								
泉大津		440						440
(線)							計	52,880
(線)								
(線)								
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 5 2 8 8 0			
平成 年 月 日				職名	おづ			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	中谷 昭			
								

平成27年度

出張申請書

(出張)

会派名	おづ		氏名	貫野 幸治郎				
出発・帰庁年月日		出発 27年10月21日		帰庁 27年10月22日				
出張先(順路)		アットビジネスセンター東京駅八重洲通り(東京都中央区八丁堀1-9-8) (株)図書館流通センター(東京都文京区大塚3-1-1) 日比谷図書文化館(東京都千代田区日比谷公園1-4)						
目的及び用件		地方創生、地域活性化に向けて【応用編】 学校図書館事業について						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線)	km	円	円	円	円	円	円	円
難波		440						440
" (地下鉄御堂筋線)								
新大阪		280						280
" (東海道新幹線)	556.4		特急料金 (のぞみ)		1泊	2日		
東京		8,750	5,700		15,000	7,000		36,450
" (東京メトロ丸ノ内線)								
茗荷谷		170						170
" (東京メトロ丸ノ内線)								
霞ヶ関		200						200
" (東京メトロ丸ノ内線)								
東京		170						170
" (東海道新幹線)	556.4		特急料金 (のぞみ)					
新大阪		8,750	5,700					14,450
" (地下鉄御堂筋線)								
難波		280						280
" (南海本線)								
泉大津		440						440
(線)							計	52,880
(線)								
(線)								

主管課用

平成27年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	おづ		氏名	貫野 幸治郎				
出発・帰庁年月日		出発 27年10月21日		帰庁 27年10月22日				
出張先(順路)		アットビジネスセンター東京駅八重洲通り(東京都中央区八丁堀1-9-8) (株)図書館流通センター(東京都文京区大塚3-1-1) 日比谷図書文化館(東京都千代田区日比谷公園1-4)						
目的及び用件		地方創生、地域活性化に向けて【応用編】 学校図書館事業について						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (東海道新幹線) 東京	556.4	8,750	特急料金 (のぞみ) 5,700		1泊 15,000	2日 7,000		36,450
" (東京メトロ丸ノ内線) 茗荷谷		170						170
" (東京メトロ丸ノ内線) 霞ヶ関		200						200
" (東京メトロ丸ノ内線) 東京		170						170
" (東海道新幹線) 新大阪	556.4	8,750	特急料金 (のぞみ) 5,700					14,450
" (地下鉄御堂筋線) 難波		280						280
" (南海本線) 泉大津		440						440
(線)							計	52,880
(線)								
(線)								
右の金額領収いたしました。				金額	¥52880			
平成 年 月 日				職名	おづ			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	貫野 幸治郎			



□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号				収受年月日	平成27年12月17日				
差 出 名		おづ 中谷 昭、貫野 幸治郎 市民クラブ 丸谷 正八郎、南出 賢一							
あ て 名		泉大津市議会議長 貫野 幸治郎				提出期限			
収 受 文 書 の 記 号				収受文書の日付	平成27年12月16日				
件 名		報告書							
議長		副議長		事務局長		次長		合 議	
									
主 管	次長補佐		議事調査係長		庶務係長		主査		
									
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項									
日 時：平成27年10月21日（水）～10月22日（木） 出張先：東京都中央区 アットビジネスセンター東京八重洲通り （株）図書館流通センター本社（東京都文京区）、日比谷図書館 目 的：地方議員研究会主催、地方創生セミナーに参加 図書館流通センターの取り組みについて									

2015 年 12 月 16 日

泉大津市議会議長 貫野 幸治郎殿

(報告者)

おづ

中谷 昭

貫野 幸治郎

市民クラブ

丸谷 正八郎

南出 賢



視察報告書

下記の通り、ご報告申し上げます。

記

日時 2015 年 10 月 21 日 22 日

目的 ①地方議員研究会主催、地方創生セミナー参加のため
地方創生、地域活性化にむけて

講師：樋渡啓祐（元 佐賀県武雄市長）

場所：東京都中央区 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り

②図書館流通センターの取り組みについて

場所：株式会社図書館流通センター本社（東京都文京区）・日比谷図書館

①地方創生、地域活性化にむけて
（講演内容について）

【午前中の内容のおさらい】

市長就任当初、世間に知られていない武雄市の知名度を向上させるために3つのポイントを大切にしながら市政経営を行った。1点目は、一番旬のもの（人）を活用すること。例えば、図書館はツタヤと組んで企画運営をするというもの。誰も想定しないような組み合わせによってメディアが喜んで報じてくれる。2点目は、スピード感。政治力の力によって行政のスピード感を上げるというもの。3点目は、笑い。例えば、市民病院の民間譲渡を争点にした時、リコールになった。しかし、この時も組織内に笑いがあり、病院経営上手くない時も笑いがあった。危機的状況でしんどい時こそ、トップが空気感をつくることが大事である。最初から完成したものをつくろうとすると失敗するものである。最初は3割からはじめて、PDCAを繰り返しながら10割に仕上げていくというやり方がよい。

【自治体にお金はないのか？】

これは大ウソであり、物事は疑ってかかった方が良い。行政は一般質問で、厳しく追及をされるのが一番嫌なものである。そして、首長は、レクチャーの時に職員に洗脳される。就任当初の財政レクチャーの時に「埋蔵金出せ！」と言った。行政には、公共施設整備基金があり、法律で基金を積み立てることが決まっており、当時は40億円以上あった（財政規模は200億円。基金残高全部で約90億円）。これらを使うことで一般会計財政に影響させることなく運営をした。

【市内バスについて】

バスは循環型はうまくいかない。病院やショッピングセンター等を核（ハブ）にして走らせることで、マーケットを最大限生かすことができる。武雄市のバス事業は4000万円かけているが9000万円の経済効果を生んでいる。

【議会について】

一般質問ではケーブルテレビが入っており、傍聴が山のように来る。そして、視聴率50%越えて、平均視聴者は4000人。このように盛り上がっている要因は、「議会を【政策決定の場】にしたこと」。検討します、努力します、という表現は辞め、その場で市長が政策決定をやるというように、議会を劇場化した。

【官が一番なのか？民が一番なのか？】

武雄市の場合、市が一番の企業であり、官が先駆けてやることは大切である。例えば、国家ビジョンのもと鉄が必要になることから、官営八幡製鉄所は国家予算の4割を投じてつくった。それは、民間ではできなかったことである。最初は官ではじめ、官でできない時代が過ぎれば民間に安く売却し、そこからは民の力を結集して伸びていくというものである。

【ブランディングについて】

武雄市で有名になったレモングラス。ホテルオークラではレモングラスの飲み物を1500円で販売していた。その原材料はホテルの裏で栽培されていたのである。安く作って、高く売る、これをヒントにして武雄市では無農薬レモングラスを手掛けた。

最初からブランドは低価格で販売してはダメである。そこで、最初に狙ったのは、新宿の伊勢丹の紅茶売場。提案当初は「まずい」との評価であったが、バイヤーにアドバイスをもらい、改善を繰り返し2年の歳月を経て導入が決定。2800円という高価格で販売したが、これが飛ぶように売れた。原価はなんと40円である。また、最初に摘むファーストフラッシュについては6000円の値がついた。

このような流れができ、レモングラス農家が増えそうになったが、ブランド価値の低下

を防ぐために7軒で打ち止めをした。レモングラス農家は儲けており、皆自信がつき、今ではパクチー栽培にも着手している。いったん成功事例つくると、また新たなものづくりとなるものである。

【何がなんでも公募しなくてはいけないのか？】

結論から言うと、入札が日本の公共施設をダメにした。値段が最優先され質が低下。公募万能主義は、業者の士気も技術レベルもダメにしていく制度である。当然、創意工夫はお金がかかるものだ。

武雄市図書館とツタヤの連携は大批判を浴びた。「随意契約で癒着してるじゃないか？」と問われたが、はっきりと「明るい癒着です」「オープンにしているので決めるのは議会で決めて下さい」と述べている。常識を疑うことが大事であり、随意契約でよかった例と公募でダメになった例も提示。コストだけの話なら公募でよいが、人もの金を呼び寄せるものをつくるにあたっては創意工夫の知恵が必要であり、発案者の存在も当然ある。それを、公募によって、価格最優先で決定するのは、歪んでいるとしか言えない。決定するのは、政治の役割であり、すべてコストの問題にしてしまうと何もかもが疲弊してしまう。

【図書館改革について】

蘭学館は一日6人の利用で、年間に1500万円投じていた。改革を行うために批判を浴びながら、市民ボランティアを入れ、2013年4月1日にリニューアルオープン。21時までの開館にしたことで、主婦、塾帰りの子どものハブとなり、昼間にはサラリーマンが訪れ商談の場にもなった。高齢者がターゲットと思っていたら全年齢層が訪れ、貸し出し冊数は三倍になり、滞在時間は4時間と伸びた。

【教育改革について】

タブレットを全小学生と中学生に配布をした。効果として、予習を家でやるようになり、復習を学校でやるという、反転授業が生まれた。理科と算数はタブレットがよいに決まっている。動画で見た方がわかりやすく、かつおもしろく、理解が早い。授業の最後には15分間小テストやることで、誰がどこを間違い、正解しているのかも把握できる。これにより、理解している子、していない子の把握が先生のイメージから、正確なものへと改善ができた。そして、算数と理科が楽しいと影響が広がっている。例をあげると、不登校率の減少、いじめの減少、学力向上につながっている。

理科の教材はニュートン、算数はワオ・コーポレーションが担っており、学校の先生と一緒につくっている。これは、学校そのものを塾と一体化させようという狙いがある。なぜ学校が面白くないのか？その大きな要因は、明治5年の学制公布から、年齢をわけて単学年にし、一方通行の授業が行われているからだ。メリットは、どんな貧しい子も来れる

ことだが、金太郎あめみたいな教育になり、多様性のある人間が育ちにくくなっている。

武雄市に成功例が多いのは、失敗の反対をやるからである。学校が官で独占されたら民の力を入れる。学校では官民一体型授業を実施するために、はなまる学習会と提携。これまで通りの教材を使用し、教えるのは教員だが、塾講師が助言をしている。

学習塾の指導法を大胆に取り入れることで、教員は当初とまどい、反対の先生もいたが、今では一番反対していた先生が一番の応援者になった。2015年春から小学校12校のうち2校で開始され、来年から5校での実施となる。導入校では、成績が伸びている。中学校は地元の塾との連携に向けて動き出している。

【議員は政策関与できないか？】

最大の政策関与は一般質問である。市民が聴きたいのは、制度ではなく、なにをどうするか。議場にはモニターを3台入れ、資料や写真、グラフを使うので、制度の説明もわかりやすい。市の方針決定は記者会見を行わず、すべて議会で行うようにしている。記者会見と議会で言っていることが違う場合、突っ込まれる要因にもなり、こうすることでメディアが議会傍聴に来るようになった。

劇場型を意識しているため、放言、撤回、暴言謝罪は日常的。世論喚起の為にわざとやっていたこともある。最大の悪は無関心であり、どうやったら市民が関心を持つかを考え行動している。

【議員は日頃なにをやるべきなのか？】

人気ある議員は一般質問終わったら、チラシを作成し全戸配布を行っている。そこに集会のお知らせも入れておくことが大事。武雄市議の3割はチラシ発行しているが、一番最悪なのは新聞折り込みである。手配りはわざわざ感が出て、少しでも配ってくれるファンがいたら、ファンがファンを呼ぶものだ。

例えば、アップル社は広告費ほとんど使っていない。良いものは伝えたいのである。

悪い例：世界最薄・・・政策を売っている。

良い例：これを使ったら世界一の体験ができる・・・物語を売っている。

アップルの戦略は物語を販売し、客が評判を広めることである。

【議員の報酬は増やすべき】

議員一人の報酬にスポットをあてるのではなく、総人件費に着目をさせるべき。

一般会計の2割、というとメディアも納得し、結果的には議員を減らして報酬を上げた。

【広報戦略について】

広報誌でおいしいレストラン特集を組んだ。すると掲載店舗は300%の客入りになったが、公平性に欠けると大批判を受けた。そこで、掲載される基準を設け、隠れミシュランがチ

エックをするという仕組みを導入。これにより、店側の努力も促すことができた。

武雄バーガーの店を掲載したことで、その店は口コミで大繁盛。こういう成功事例が出たことでスターがスターを呼ぶ結果を招いている。

稼ぐ自治体、儲かる自治体は、稼げない部分である福祉や子育てに再投資ができる。人や店が儲かれば、税収が増えるので、ネット販売も手掛ける等、既成概念に捉われない仕掛け方をやっている。市内に儲けている店が増え、店舗の意欲も高まっている。

【図書館整備の過程について】

進めるにあたっては、市民ボランティアを 200 名募り、CCC（ツタヤ）と教育委員会から猛反対があった。しかし、プロセスに市民を入れることで、結果として市民が喜び、一緒に苦労して、涙流し、一緒に達成感や感動を味わうことができた。こういうストーリーをつくれるのは行政である。我々行政はその舞台にいることを自覚すべきであり、政治家は自分の意見を開陳する議会という場がある。

図書館運営費は、公設公営時代には 145 百万円の運営予算だったものが効果を出しながら、10 百万円削減することができている。ツタヤのメリットは市の仕事をしていることであり、ブランド価値が上がること。

現在の図書館の 1 年間の経済効果は 20 億円に上っている。ど田舎である武雄市の図書館をみればわかるように、地方、田舎、不便は言い訳にならない。本当に良いものを作ったら人は来るのである。

②図書館流通センターの取組みについて

図書館流通センターは本の選書、1 冊 1 冊の情報整理をして、全国約 3000 の公共図書館に情報提供、納品等、図書館業務に関わる川上から川下までのサービスを提供している。現在、泉大津の図書館においては受付業務を図書館流通センターに業務委託している。

図書館の運営については窓口業務委託から指定管理、PFI と請け負っているケースは様々であるが、着目すべきは単なる図書館運営に留まらず、情報発信拠点としての図書館の新たな取り組みを行っているところである。例えば、長崎市立図書館では病院と連携し、がん情報コーナーを開設。様々な資料を用意するだけでなく、図書館を拠点に講座を開催したりと、政策推進に図書館機能を最大限生かしている。

また、地域への郷土愛を育むための仕掛けとして、地元の歴史文化にまつわる本を管理し、地元社会教育団体や教育機関と連携をして、図書館を活用した地域学習をサポートする取り組み支援等も手掛けている。その他にも、図書館を活用したまちづくりや、図書館整備のノウハウ等、幅広いノウハウを蓄積している。

当日訪れた日比谷図書館においては、本を読んだり勉強をするのに居心地のよい環境に加え、wi-fi 整備、カフェやレストランの併設をし、一日中ゆったりとできる空間づくりを

している。また、図書館によって、どの分野の選書に力を入れるのかカテゴリー分けをしており、大都市だからこそできる取り組みであると感じた。

所見

樋渡氏から学んだことはリーダーシップ論である。目的を定め、実現するための緻密な戦略と道筋づくり、手段は既成概念にとらわれず、大胆に実行力をする。堂々と公開の場で討論をしながら必要な空気感をつくっていく。この背景には、議会への地道な根回しや、市民とのコミュニケーションを大切にしていることもはっきりとわかりました。市役所組織においては、報連相を極力辞めさせて、ポジションに応じた決断を意識させることで主体性を持たせるという、組織マネジメントにおける理念も明確である。

数々の成功事例については参考すべきではあるが、特にその背景の理念や地道な取り組みの部分にしっかりとフォーカスをする必要があり、むしろ後者から学ぶべきことの方が多く感じた。

また、図書館流通センター本社にてレクチャーを受けてわかったことは、日々発売される本の情報整理量（力）は唯一無二であること。全国図書館での先進事例や実現ノウハウ、また 300 万冊を越える本を扱い知識の宝庫としても、利活用できることがたくさんある。今後、泉大津の図書館においては建て替え等の課題を抱えており、まちづくりにおける図書館を活かした戦略は非常に大事な要素となってくる。教育や文化レベルの向上、コミュニティ創出やまちづくりの推進に資する図書館のあり方を、あらゆる角度から進めていきたい。

図書館運営については、CCC運営の武雄図書館と図書館流通センターが運営する図書館とでは理念に隔たりがある。前者の図書館は、図書館で本を借りたり読んだりすることを目的に来る人ばかりではないということ。つまり、スタンダードな図書館がまちに一つ備わっていてこそ、武雄のような図書館がより生きるものとなると考える。本質的にはスタンダードな図書館機能を備えた上で、副次的にコミュニティづくりの仕掛けを行っていくことが、図書館整備に際して大切であると考えている。